

温

おん

(思いやりのある子)

強

ごう

(がんばり抜く子)

活

かつ

(進んで学ぶ子)

山口市立小郡小学校
2019 年度 校長室だより

第 11 号

〈R. 元. 7. 8〉

7月の全校朝会より

○保健委員会の発表

劇をしながら、熱中症の予防や、規則正しい生活の必要性をクイズも入れて、みんなに呼びかけてくれました。きちんと準備をして、堂々とした発表でした。



○校長の話 「お天道様は見えています」

誰も見ていないからといって、ゴミをポイ捨てする人をどう思いますか？

本当に誰も見ていないのでしょうか？ 昔の人はよく、「お天道様が見ちよってよ。」と言っていました。「お天道様」というのは、いつもみんなを照らしてくれている「太陽」のことです。「神様」と考えてもいいかもしれません。

つまり、「誰も見ていないと思ってゴミを捨てたり、人に意地悪したり、トイレでいたずらしたりしても、太陽や神様は必ず見ているよ。」ということです。

そして、もう一つ考えてほしいことは、太陽や神様以外に、もう一人必ず見ている人がいるということです。誰だかわかりますか？

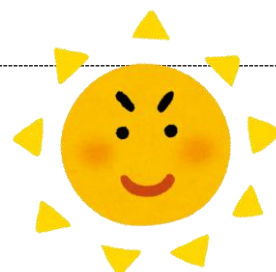
(こう問いかけると何人か手が挙がりました。全校で7～8人です。3年生の男子に指名してみました。ずばり答えてくれて感心しました。)

「自分です。自分は必ず見ていると思います。」

そう、自分です。人が見ていないからといって正しくないことをする自分を好きになれますか？昔の人は、「人が見ていようが見ていまいが、常に正しくあれ！」と諭してくれていたんだと思います。

そして、その逆もあります。誰も見ていないところで良い行いをして、お天道様は必ず見えています。自分も見えています。

- ※
- ・陰でこそこそ人の悪口を言っていた。
 - ・紙に人の悪口を書いていた。
 - ・男子便所の小便器に大便がしてあった。



等々、1学期に学校であったことを念頭に話しました。誰も見ていないからといってよくない行いをして、心の中は平静ではられません。何かいやな感じが残るはず。逆に、誰も見ていなくても正しい行いをする、すっきりします。そういうことの積み重ねが、自己肯定感にもつながるのだと思っています。誰も見ていなくても正しい行いができる自分を好きになり、誇りをもってほしいです。